

秋葉丈志 著

国籍法違憲判決と日本の司法

A5変・上製・244頁 6,800円(税別) ISBN978-4-7972-6767-9 C3332

「積極的な司法」を切り拓いた国籍確認訴訟

「マイノリティ」の権利を守る画期的判決はどのようにもたらされたのか。法を動かす裁判官の「個性」や司法と政治の関係等に焦点を当てたダイナミックな司法論。法社会学や憲法学など、幅広く有用の書。

【目次】

◆序章◆ 国籍法違憲判決の意義

I はじめに／II 本判決の背景：ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン(JFC)とは／III 判決は何を問うたか／IV 「問い」への二つのアプローチ：対照的な判決／V 最高裁判決のインパクト／VI まとめ

◆第1章◆ 国籍法違憲判決と政策形成型訴訟

I 国籍法違憲判決とその法的・社会的意義／II 政策形成型(現代型)訴訟と cause lawyering について／III 国籍確認訴訟における弁護士・支援団体の役割／IV 判決内容の「実施」(implementation)過程と弁護士・支援団体の役割／V 政策形成型訴訟を巡る議論と本件訴訟について／VI 結論

◆第2章◆ 国籍確認訴訟を巡る裁判官の「個性」と裁判所の力学

I はじめに：憲法解釈と司法の役割／II 地裁判決と高裁判決の対照的アプローチ／III 地裁・高裁判決と裁判官の「個性」／IV 裁判官の組織内関係からの分析／V 結論

◆第3章◆ 「法の下での平等」と最高裁

I 大法廷判決と最高裁内の意見対立／II 非嫡出子差別訴訟と国籍確認訴訟／III 選挙と「法の下での平等」を巡る訴訟との関連／IV 憲法訴訟と最高裁／V 結論

◆第4章◆ 国籍法違憲判決と血統主義

I はじめに／II 国籍法改正と JFC／III 血統主義の混迷／IV 血統主義の今後／V 結びに：国籍法違憲判決と法、社会

◆第5章◆ 国籍法違憲判決と今後の司法のあり方

I 国籍法違憲判決と法改正過程／II 国籍法違憲判決と今後の司法／III 今後の研究課題／IV 結びに



〈執筆紹介〉

秋葉丈志 (あきば たけし)

1975年 アメリカ合衆国メリーランド州生まれ

1999年 早稲田大学政治経済学部卒業

2001年 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了

(その後、社会科学研究所博士課程に一時在籍)

2010年 カリフォルニア大学バークレー校大学院「法と社会政策」課程 Ph.D. 取得

2007年 (公立) 国際教養大学講師

2013年 国際教養大学准教授、現在に至る

下記にご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください!!

秋葉丈志 著

□国籍法違憲判決と日本の司法 冊

お名前:

ご所属:

〒

お届け先:

お電話番号:

e-mail:

